



古高だより

自主自立 敬愛和協 明朗端正 勤勉誠実

鹿児島県立古仁屋高等学校

〒894-1508

鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋399番地1

[TEL]0997-72-0034 [FAX]0997-72-0057

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/koniya/

< 新体カテスト >

運動能力の現状を知るために5月22, 25, 26日の3日間、学年別に50m走, 長座体前屈, 握力などを測定しました。自らの記録に一喜一憂しながら, 真剣に取り組んでいました。



< 校内放送による生徒総会・家庭クラブ総会 >

5月28日放送による生徒総会, 家庭クラブ総会を実施しました。初めての試みでしたが, 大きなトラブルもなく, ひとりひとりが学校について考えるよい機会になりました。



< 統一LHR「差別」について考えよう-「コロナ差別」に対して今自分たちができること >

5月21日, LHRで新型コロナウイルス感染症に伴う様々な差別について学習しました。新型コロナウイルス感染症について正しく理解し, 差別を生む背景を考えることで, お互いを尊重しよりよい人間関係育むことの大切さを学ぶことができました。



< 一年生の言葉 >



私は, 古仁屋高校に入学できたことをとてもうれしく思います。古仁屋高校で先輩方や先生方から多くのことを学び大きく成長する3年間にしたいと思っています。

私が高校で頑張りたいことは寮の生活と部活動です。故郷とは, 違う文化や環境に慣れないところもありますが, 勉強や部活動に励み, 友達と協力して充実した3年間を送りたいです。まだ何もわからないですが, 先輩方が作り上げてきた伝統を受け継ぎ, さらに地域に貢献できるように一生懸命がんばっていきます。これからよろしくお祈りします。

1年2組 岩淵 新 (宮城県 東和中出身)

創立90周年企画 「郷土の高校! 古仁屋高校のあゆみ」 第1号

大島郡東方村立古仁屋家政女学校時代 (昭和5(1930)年~昭和14(1939)年)

修学旅行は名瀬まで徒歩で!

本校は昭和5(1930)年に大島郡東方村立古仁屋家政学校として誕生しました。入学資格は高等小学校卒業で1年制, 定員は50名, 古仁屋小学校の校庭西側にありました。時代は世界恐慌(1929~)が波及し日本中が大不況に見舞われ, 翌年には満州事変(昭和6(1931)年)が勃発するなど, 激動の時代の入口にきていました。当時の職員の中山ハエ子氏は, 「生徒も教師も四年制女学校(現:奄美高校など)の生徒と同じ実力を付けたいという強い意欲に燃えていて, 放課後なども遅くまで裁断などを教えました。修学旅行は古仁屋から名瀬まで歩いて行き, 途中住用村の西仲間で一泊しました。名瀬についたときはへとへとでした。」



バレーボールを楽しむ生徒たち(昭和8(1933)年)

家政3回卒業生の元田ヨシ子氏は, 「自炊や下宿の方も多く, 蘇刈・嘉鉄・勝浦・阿木名などの遠いところから山坂道を厭(いと)わず徒歩通学で頑張りとおした方もいた。苦しい窮乏生活を不平不満もなく過ごした時代でした。皆が仲良く真剣に勉強に取り組んでいた姿を忘れることができません。」と記録しています。大不況の中, 郷土の学校として歩み始めた頃の, 教師・生徒の意欲あふれる姿が目に見えます。(教頭 吉井秀一郎)

<参考・引用文献>

創立50周年記念誌(1981年 鹿児島県立古仁屋高等学校創立五十周年記念事業実行委員会), 瀬戸内町誌 歴史編(2007年 瀬戸内町誌歴史編編集委員会)